

病害虫防除所情報 第3号

令和5年9月8日
山梨県病害虫防除所

【ブドウ黒とう病の防除について】

[発生状況及び今後の見通し]

1. 9月初旬の巡回調査の結果、県内各地（南アルプス市、韮崎市、笛吹市、甲州市、山梨市）のほ場で、シャインマスカットを中心に新梢や葉に、引き続き黒とう病の発生が見られている（写真1および2）。発病ほ場率は30%、発病葉率は全ほ場平均で0.5%であった。
2. 気象庁が8月31日に発表した1か月予報（9月2日～10月1日までの天候見通し）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込みである。

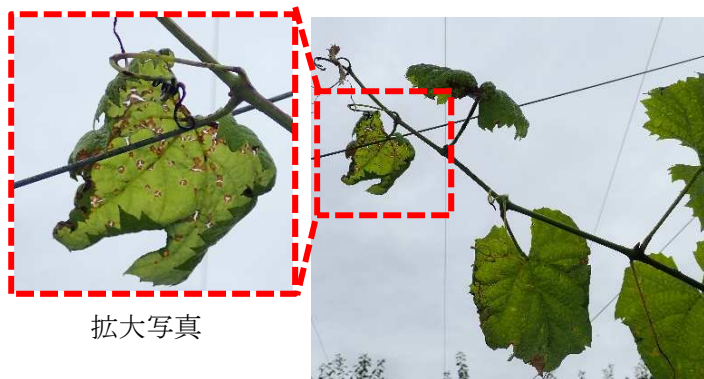
[防除対策]

以下の防除対策を徹底して下さい。

1. 黒とう病の病原菌は結果母枝や巻きひげで越冬し、翌年の伝染源となる。翌年の発生を少なくするため、発病部位は切除し、ほ場の外に持ち出して適切に処分する。
2. つり棚の支線、簡易雨よけの資材やハウスのパイプに絡みついた枝や巻きひげを、丁寧に除去する。冬の剪定時には巻きひげ等が木質化して取りにくくなるため、柔らかいうちに除去する。
3. 収穫直後から、以下の薬剤を散布する。

表1 ブドウ黒とう病の収穫後の防除対策

時期	防除薬剤 (100㎡当り薬量)	散布量	注意事項
9月 (収穫直後)	ICボルドー66D 40倍 (2.5kg) または4-4式ボルドー液 (硫酸銅400g・生石灰400g)	400L /10a	・樹全体にかけムラのないよう十分量を散布する。 ・棚から飛び出した枝や、副梢、葉裏にも薬液がかかるよう丁寧に散布する。



拡大写真



写真2 遅伸びした枝や葉に見られる病斑

写真1 副梢先端に見られる発病葉